

第3ステップ課題作文

テーマ：「マイ・ブックレビュー」

ブックレビューは、日本語で言えば「書評」にあたります。つまり、自分が関心を持った図書を取り上げて、他者に紹介するための文章です。ただし、皆さんが小学校以来しばしば書いてきた「**読書感想文**」(自由記述)とは異なるので注意してください。ブックレビューには、基本的に、次の二つの要素が盛り込まれています。

- ① **図書内容の紹介**：盛り込まれている情報や、著者による主張・新たな視点などを簡潔に述べる
- ② **評者自身のコメント**：図書がもつ長所・短所や、読み手から提起したい視点などを簡潔に述べる

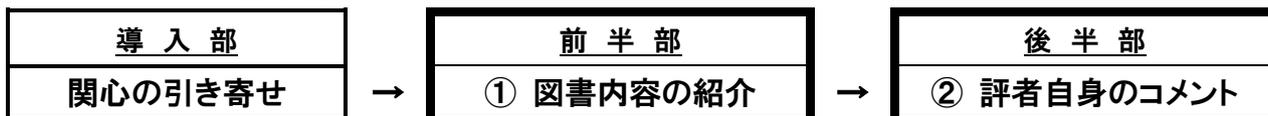
この二つの要素は、文章の質においても、「客観的記述」と「主観的論述」というふうに分けることができます。

まず、①「**図書内容の紹介**」は、あくまで本の著者が語った内容を客観的に要約したものであり、そこに読み手(書評の作者)の考えや見方が入り込まないように注意します。むやみに著者の主張を自分流に言い換えたり、図書全体のうち一部ばかりを強調すると、その本について人々が誤った印象や理解をもつことになりかねません。自分の書評が、仮に著者に読まれても抗議を受けることがないよう、「フェア」な姿勢で書くことを心がけましょう。

一方、②「**評者自身のコメント**」は、**読み手自身の見方・考えを積極的に打ち出すものです**。それは漠然とした「感想」ではなく、書評の読者に対して、なぜ自分がそう思うのかを論理的に説明する姿勢で書かれます。「面白かった／面白くない」・「役に立つ／役に立たない」などの単純な所感表明で終わらせず、その本の「どこが」・「どういった点で」自分に面白さや有用さを感じさせたのか、あるいは感じさせなかったのかを、明確に言葉にしてください。

今回の SSE 課題では、上の2つの要素を、下の図のように「前半部」「後半部」としてはつきり書き分け、主観と客観とを曖昧にしない文章構成をとることを勧めます。なお、書評の冒頭には、図書の内容・テーマについて読者の関心を引き寄せる「導入部」をぜひ置きましょう。

(ブックレビューの基本構成)



前半部作成のための材料

図書の内容を簡潔にまとめるため、特に次の3つの部分が主な情報源となります。

- ① **図書のオープニング部分**：「はじめに」「序」「まえがき」「プロローグ」など
⇒ この部分では、著者が「なぜこの本を書いたか」「何を述べようとしているか」「どのような視点からテーマを扱うか」など、**図書内容の方向性**を述べていることが多い。
- ② **図書のエンディング部分**：「おわりに」「結び」「あとがき」「エピローグ」など
⇒ この部分では、著者が最後に「一番言いたいこと」「さまざまな検討の末に到達した意見」など、**図書の主要なメッセージ**を述べていることが多い。
- ③ **目次**
⇒ 本全体で「どのような話題が盛り込まれているか」「どういった順序で論旨を展開しているか」など、**図書の具体的構成や論理構造**が見て取れる。